



昨年行われた藤久保小学校エリア避難訓練と初期行動マニュアル概要

みどり豊かで安心のまちづくり

01 防災・減災のまちづくり

東日本大震災を経て、行政区、消防団、学校等で構成する地域防災検討委員会を設置し、「**地域防災初期行動マニュアル**」を作成しました。藤久保小学校エリア訓練を継続しつつ、他地域への拡大を進め、町本部と地域が連携した総合防災訓練が実現するよう、計画的かつ着実に「**地域避難訓練**」や「**地域防災ネットワークの構築**」を地域に根付かせていきます。

地域防災初期行動マニュアルを迅速、円滑に実行するため、ハード面の整備拡充が求められます。情報伝達機能の拡充（音声自動応



昨年、町内中学生のうち15人が7月29日から8月3日までマレーシアに国際理解教育の一環として、中学生海外派遣を実施

01 安心で子どもへの心遣いはぐくむ町づくり

小中学校施設耐震改修事業は、**上富小学校校舎及び屋内運動場並びに竹間沢小学校屋内運動場の耐震化補強工事**を進めることで学校施設耐震化が完了します。※補強中

小中学校施設管理事業は、エリアコソ設置に向けて各学校の空調の

方式、設置費用及びこれにかかる維持費用などの基礎調査を進めました。今年度は中学校3校について、空調設備工事の実施設計を行い、整備に向けて準備を進めます。

地域拠点施設整備事業は、**地域拠点施設（学校給食センター併設）の実設計を進め、平成27年度稼働**に向けて、施設建設の準備に着手します。

豊かな生涯学習をはぐくむまちづくり

02 文化によるまちづくり

先人達が夢を描き、営みを重ねながら、歴史と伝統を受け継ぎ、豊かな自然と文化の薫る町をはぐくんでいきます。

私達は、人と人との絆を何よりも大切に、いきいきとした「**芳**」を次の世代に伝えていかなくてはなりません。新たに「**文化のまちづくり**」を発展させる懇談会を設置し、未来に向けて文化の薫る活気に満ちた三

芳町創造のため、調査・研究を行っていきます。

図書館は、豊かな読書生活を保障し、調査・研究を支援する機能をさらに発展させ、「地域の情報拠点」として、住民の生活に役に立つ図書



子どもたちに豊かな読書生活を提供

中学校海外派遣事業は、アジア方面としてマレーシアへ派遣し、昨年受け入れてくれたマレーシア・サプラ・スマート校の親善訪問団を受け入れ、友好と国際理解を深めます。

館を目指します。さらに、図書館システムの入替に伴い、資料のインターネット予約を開始しサービスの向上を図ります。また、図書館と学校との連携により、「**小学生向けおすすめ本**」リストを作成し、児童の読書活動を推進していきます。

生涯学習活動促進事業は、少子化や核家族化、地域の人間関係の希薄化など青少年を取り巻く環境が年々厳しさを増していることから子どもへの知的好奇心を刺激し学びの機会を提供する「**子ども大学みよし**」を開設します。また、大学・企業・地域活動団体など、町内の様々な学習素材を活用した学習活動を核とし、元気な地域を創造する子どもを育てていきます。

生涯スポーツ活動促進事業は、「小学生ハンドボール教室」が好評を博したことから、青少年スポーツの振興を目的に、地元企業チーム、地元大学、体育施設の指定管理者と連携を図り、教室を開催し、ジュニアチームの結成

答サービスの導入、パンザマスト増設、備蓄対策の拡充（防災倉庫の増設、オストメイトイレの導入）、災害対策本部通信機能の確保（移動系防災無線車載器の交換修繕）などの充実を図ります。

埼玉県の市町村助け合い制度に基づき支援パートナーである大熊町に対しても保健師を派遣し、引き続き復興支援を行います。

防災の要、入間東部地区消防組合本部新庁舎は、8月にオープン予定です。2層体制にし、現場活動体制を強化します。防災館を設置し、防災映画の視聴や消火器訓練等が可能となり、開かれた消防署を目指し、防災意識の高揚と啓発を図ります。

建築物耐震改修促進計画に基づく耐震化助成を推進します。耐震化率を高めることにより、住民の生命と財産を守っていきます。

02 都市基盤整備と安全な生活道路整備

現在推進中の2地区（北松原地区、藤久保第一地区）の土地区画整理事業の早期完成を目指し支援をします。しかし、財政的な負担も大きく、事業内容の精査を行い、事業費の節減に努めます。

平成25年2月に**富士塚土地区画**



緑が豊かなみよしを後世に

03 安全で安定した水の供給

水道事業は、耐震化事業を進め、既に配水池及び着水井・浄水池の改築事が完成しました。本町のシンボルとなる高さ30mの配水塔も、完成します。また、上下水道課の事務を浄水場2階事務所へと移転し、災害発生時において、迅速な対応ができるようにします。審議会等で水道料金のあり方等

点の右折禁止の解除を進めます。道路舗装の老朽化・劣化状態の調査をし、長期的な修繕計画を策定するための業務委託および、道路橋の長寿命化を実現させるための**橋梁点検業務委託及び橋梁台帳作成業務委託**を行います。※補修者

そして定期的な点検により、損傷の早期発見と早期対策を進めます。なお、新たな公共交通の導入については、政策研究所のプロジェクトチームで、3年間研究をした政策提言を受けて、平成26年度には試行的な導入を図ります。

04 公園の整備と緑化の推進

首都近郊のオアシスと言われるている町の平地林や保存樹木は、年々減少の一途をたどっています。政策研究所の「緑の保全」プロジェクトの政策提言を受けて、緑豊かな自然環境を残すために可能な施策を随時実施していきます。開発等で失われつつある本町の緑地を後世に残すため、緑地保全制度や、さいたま緑のトラストなどを活用していきます。

公園施設整備事業として、生態系に配慮し安全・安心に利用できる憩いの場の**自然の森・総合スポーツ公園**、また**街区公園（藤久保第一土地区画整理事業による公園）**の設置に向け努めます。



町が誇る文化芸能「竹間沢人形」

文化財保護事業は、埋蔵文化財の保護と調査、郷土芸能などの無形の文化財の保護と継承、建築物などの保護と活用、古文書の保存と内容の記録などを引き続き実施し、二富新田地割の景観の保全と活用、車人形の保護と普及など他市町村にない特有の文化財を保護し、町の文化的イメージアップを図ります。

旧島田家住宅事業は、二富開拓地割遺跡の普及啓発とビジュアルセンターとして、さつまいもの苗床などの生熊展示や年中行事の再現等直接触れて感じる活動を通じて、本町の歴史や文化、季節の営みを紹介していきます。■